

テレワーク事業で開発したソフトの所有権は

開発企業にあり、ソフト活用による成長に期待



議員 春 久仁 取 名

質問：…3月定例会でテレワーク事業が補正予算と通常予算に二重

計上され、町長は議会中にも結果が出るのでは、と答弁した。通常の予算計上は、不採用なら改めて検討し、その後に補正を組むべきではないか。

町長：…二重計上に違和感はない。今考えると、確かに疑問はあるが、加速化交付金を申請するためには、議会の承認、予算の裏付けが必要だった。

質問：…ソフト開発業者を選定する方法は。

町長：…今回の事業は発案者が森のオフィスの会社で、国の肝いりでもある。国の地方創生の主要戦略である森のオフィスが重要だと考え、随意契約とした。

質問：…今回の事業は、町が国から補助金をもらい、ソフト開発している。ソフトの所有権は。

町長：…町は、付加価値を付けていないので発明し開発した企業に所有

権がある。その企業が、開発したソフトの活用で発展することが、町の発展にもなる。

質問：…交付金の申請書には、検証方法として、議会の全員協議会で審査するとある。従って、町の事業だと思いが契約書は？

総務課長：…年度当初から検討し、既に締結されていて、今年度中に成果を上げる予定だ。

質問：…KPIの報告義務は。

総務課長：…報告は、この補助金単独ではなく、先行型・加速化推進それぞれに有識者会議の意見を添えて年度ごとに報告する。

質問：…次の予算編成には、住民懇談会で子育て支援補助金や、駅裏の公園に関する説明をしてほしい。その考えは。

町長：…5次総合計画を推進するので、継続性を考えて通常予算編成でいく。

子ども課長：…公園の計画は10月中旬には概略が見えるので、住民懇談会に報告したい。

テレワーク関連の進捗状況は

入居企業とは有料の2年間を再契約



議員 子 市 林 小

質問：…テレワーク事業の有料化に伴う今後の見通しと、進捗状況、

また、中途解約についての条件整備は。

町長：…地域おこし協力隊員は、地域のイベントに参加し、町の商工会の青年部との交流会など、町側と地域を結ぶ機会などを企画し、実行している。企業の社長らとの懇談では、この拠点をシリコンバレーのように発展させていく取り組みに、協力の理解を頂いた。だから脱落する企業はないと思う。無料期間を除いた残り2年間を有料で定期借家契約をした。この事業が有名になれば、中小企業への就職希望者は増える。支援を優先する。

■富士見駅周辺の都市計画は

質問：…駅周辺の開発に、エレベーターが利用できる橋上駅と連絡道を設け、南北に人の流れを活性化させる都市計画開発事業の考えは。

町長：…駅の階段をエレベーターにしてほしいという要望は何回もあつて、JRに掛け合った経過はあるが、乗降客が伸びない現状では、「協力できない」と回答があつた。橋上駅にしてエレベーターの利用計画は理想的だが、JRの協力なくして実現は不可能だ。

■分水の森の管理と利用は

質問：…現状では、都市公園としての機能や役割を生かす危機管理、維持管理が課題です。子どもたちが駆け回れる広場、散策や癒しの森、学びの森としたゾーンが生まれている。

そんな森公園を植物友の会や個人がボランティア作業で、価値ある樹木や草花、山野草など生物多様性に恵まれた環境を守ってきた。イバラやツタウルシ等の下草刈りや害虫に拠る樹木等の伐採は、町の少ない予算では、環境を守る管理が間に合っていない。今後、利用しやすい環境にするため、東西南北に出入り口の設置を提案する。